

『自分で考え、判断し、行動できる生徒の育成』をめざして～

2026/1/19

## 群馬経済同友会の方々へ 前南の SAH 活動を発表！

群馬経済同友会は、群馬県内の経営者が個人の資格で参加し、地域経済の活性化や社会課題の解決などを目指す経済団体です(昭和 31 年設立、会員数 275 名【2025 年 10 月現在】)。昨年 12 月 8 日(月)ホテルグランビュー高崎で行われた群馬経済同友会の次世代育成委員会の勉強会「パネルディスカッション『SAH の取り組みとこれから』」に本校と高崎女子高校、伊勢崎高校の 3 校が呼ばれ、校長先生と生徒会で 3 年間の SAH の取り組みを発表させていただきました。(編集 教頭)

### ◎ 参加した生徒の感想を紹介します

経済同友会での発表は、これまでの SAH 活動をふり返るためにも、今後の目標を設定するためにも、良い機会になりました！また、高女や伊高は SAH 活動として、インターナショナル・スタディツアーやセミナーを行っていると紹介していく、学校ごとに SAH 活動の様子は様々だけれど、共通する精神があることを実感できました！SAH の活動は、私たち高校生を「子どもだから」と社会から除外せず、社会の一員として活動できるように支えてくれています。私は、改めて「環境に恵まれているなあ」と思いました。今あるこの環境に感謝し、生徒会として積極的に活動しながら SAH の活動を少しでも広げていきたいと思いました！頑張ります！(2 年 新井稀唯)

今回この経済同友会の勉強会に参加して、あまりしっかりと把握できていなかった他校の SAH の取り組みや、本校を含めた前橋南高校、高崎女子高校、伊勢崎高校らの校長のパネルディスカッションで貴重な例・経験を得ることができました。改めてまだ南で行える SAH の取り組みは十分にあると今回の勉強会で知りました。1 年生のうちからこのように様々な企業・団体が参加する勉強会に参加できてとても良かったと思います。(1 年 梅澤未来)



私は先輩達が発表しているのを見ていただけですが、前南の取組の個性や魅力を聞いている人にうまく伝えられたと思います。他校のプレゼンでは、それぞれの学校の SAH の取組があって前南でも出来たら楽しそうだなと思うものや、興味を惹かれるものがたくさんありました。どの学校も、発表している人が堂々としていてとてもかっこよく刺激になりました。また、この勉強会を通して、私たち自身で行動を起こす勇気をもらいました。この経験を今後に活かして行きたいです。(1 年 高橋理緒)

今回は、群馬経済同友会のパネルディスカッションに参加させていただきました。前橋南高校だけでなく、高崎女子高校さんや伊勢崎高校さん、さらに各企業の経営者の方々も参加されており、他校のSAHの取り組みを知ることができる大変貴重な機会となりました。他校のプレゼンを拝見し、SAHを活用した探究の授業がとても活発に行われていることがわかり、自分もより一層探究活動を頑張ろうという気持ちになりました。また、自分からも前橋南高校のSAHの取り組みを紹介させていただき、多くの経営者の皆さまの前で発表するという、非常に刺激的な経験となりました。この経験を今後につなげ、より良い学びに発展させていきたいと考えています。さらに、後半のパネルディスカッションでは、各校の校長先生方からSAHに対する今後の展望などを伺うことができ、改めてSAHへの理解を深めることができました。

(2年 平沢拓夢)

## 勉強会 次第

1. 開会挨拶
2. 開催主旨説明・登壇者 紹介
3. 各学校の取組紹介
  - ①学校としてのSAHの取り組み概要（校長）
  - ②具体的な事例発表（生徒）
  - ③今後の展望（校長）
4. パネルディスカッション  
(例) 企業の採用・育成とエージェンシー、あるいはエージェンシーを発揮する機会を得て学んできた生徒や発揮する力を身につけた生徒たちをどう会社で生かしていくのかなど
5. 結び
6. 閉会挨拶

当勉強会の開催趣旨に「探究活動を経て社会に出る若者と企業側との相互理解を深めることで、企業側として人材育成と評価の方向性を考える機会にしたい」とありました。人材育成という観点で、学校で行われているSAHへの取り組みや探究活動に企業も関心があるということがわかります。前南生にはSAH活動や探究活動が、数年後の大学入試の総合型選抜、学校推薦型選抜に活かせるだけでなく、5年後10年後の社会人に出たときの力になっていくということを感じてほしいです。（教頭）

★校長より★今回、群馬経済同友会さんより「次世代育成委員会の勉強会に校長・生徒で参加をお願いしたい」というお話しがあり、出席させていただきました。県内のたくさんの会社の幹部の方達の集まりですが、次世代育成という観点から現在の高等学校の取組について関心を寄せていただいていることがよくわかりました。本校でも、探究活動やSAHの取組の中で企業や行政の方にインタビューをお願いすることあります。高校教育は学校の中で閉じたものではなく、学校外の方と連携をしながら進めていく形になっています。たくさんの方の協力を願いしていくことになります。皆さんも企業や行政の活動にぜひ、注目してほしいと思います。（校長 原 拡史）



▲勉強会終了後に。お疲れ様！



▲三校の校長が登壇したパネルディスカッション